

様式第1号(第5条関係)

会議概要

会議の名称	第5回久喜市食育推進会議
開催年月日	平成28年8月8日(月)
開始・終了時刻	午後1時15分から午後2時45分
開催場所	鷺宮総合支所 4階 407・408会議室
議長氏名	野原 宏
出席委員氏名	新井和江、鈴木敬一、野田恵子、濱田亜砂子、平塚修子、山田實、折原憲司、上岡斎、根本昌子、高瀬由美、塙越敏夫、杉田孝行、島野弘子、羽柴直子、宮内智、野原宏
欠席委員氏名	染谷和美、岡田竜一、高木学、齋藤勝義
説明者の職氏名	真坂健康医療課長、小沢課長補佐兼係長、小澤担当主査、齋藤栄養士
事務局職員職氏名	立川健康増進部長、小林健康増進部副部長、真坂健康医療課長、小沢課長補佐兼係長、小澤担当主査、齋藤栄養士
会議次第	<p>1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 計画の基本理念について…[資料1] (2) 計画の体系について…[資料2] 4 その他 5 閉会</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回久喜市食育推進会議次第 ・[資料1] 基本理念について推進会議及び府内連絡会議から出された意見 ・[資料2] 計画の体系(案) ・[当日配布資料] 各分野における課題・取組み(食育) 各分野における課題・取組み(健康づくり) ・[当日配布資料] 第2次久喜市健康増進計画・食育推進計画 策定スケジュール(案)
会議の公開又は非公開	公開
傍聴人數	1人

様式第2号(第5条関係)

審議会等会議録

発言者	会議のてん末・概要
司会 (真坂課長)	<p>1 開会</p> <p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日は大変お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今より、久喜市食育推進会議を始めたいと存じます。</p> <p>はじめに、市役所では、引き続き、節電に取り組む必要がございますことから、現在、軽装にて執務を行う「クールビズ」を実施しております。ノーネクタイ、ノー上着での執務となりますが、ご理解いただきますよう、お願い申し上げますとともに、併せて皆様の節電へのご協力をお願ひいたします。</p> <p>次に、市では審議会等を開催した場合には、久喜市審議会等の会議の公開に関する条例により、会議録を作成し公表することになっております。</p> <p>公表するにあたり、本日、出席された委員の皆様には、会議録の内容をご確認いただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、お手元の次第に基づきまして、進めさせていただきますが、ここで、配布資料の確認をさせていただきたいと存じます。</p> <p>まず、事前に配布させていただきました資料ですが、3点の資料でございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回久喜市健康づくり推進会議 次第 ・資料1 基本理念について推進会議及び庁内連絡会議から出された意見 ・資料2 計画の体系(案) <p>以上が、事前通知により同封いたしました資料でございます。</p> <p>次に、本日の配布資料といたしまして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日配布資料 第2次久喜市健康増進計画・食育推進計画 策定スケジュール ・当日配布資料 各分野における課題・取組み(食育・健康づくり) の3点でございます。 <p>お手元に、ございますでしょうか。</p> <p>次に、本日の会議の終了予定時刻ですが、2時45分とさせていただきたいと考えておりますので、ご協力をお願ひいたします。</p> <p>それでは、次第の2 あいさつでございます。本会議、会長であります、野原会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。野原会長よろしくお願ひいたします。</p>

野原会長	『野原会長あいさつ』
司 会 (真坂課長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、本日は、 4人の委員が都合により欠席されております。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 染谷 和美 委員・ 岡田 竜一 委員・ 高木 学 委員・ 斎藤 勝義 委員 <p>出席者は定足数に達しておりますことを報告させていただきます。</p> <p>それでは、次第の3 議題に入らせていただきます。</p> <p>議事の進行につきましては、久喜市食育推進会議条例第7条第1項の規定によりまして、推進会議の会長が議長となるとなっておりますので、野原会長に議長をお願いし、議事を進めていただきたいと存じます。</p> <p>野原会長、よろしくお願ひいたします。</p>
議長 (野原会長)	<p>それでは、暫くの間、議長を務めさせていただきます。</p> <p>円滑に議事が進行いたしますよう、皆様方の特段のご協力をお願いいたします。</p> <p>議題の（1）計画の基本理念について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (小澤担当主査)	<p>（1）計画に基本理念について （ 資料1に基づき説明 ）</p> <p>府内連絡会議、健康づくり推進会議、食育推進会議の委員の皆様より頂いたご意見、キーワード等をまとめ、事務局案として4つの基本理念（案）を作成しました。委員の皆様から、ご意見をいただければと思います。</p> <p>案1 広げよう 笑顔あふれる 健康づくりと食育の実践の環 案2 明日を生きる子どもたちにつなげ！みんなの食育・健康づくり 案3 笑顔あふれる元気なまち 久喜市 案4 健康づくりと食育で 明日の自分をデザインする</p>
議長 (野原会長)	<p>ただいま事務局から、（1）計画の基本理念について、説明がありました。ご質問、ご意見などをお願いします。</p>
羽柴委員	<p>案1ですが、「広げよう」だと、ちょっと弱い感じがします。広げたいという強い思いを伝えたいので、「広げよ！」と強めに言い切ったほうがいいと思います。「実践の環」は良いと思います。</p> <p>案2の「つなげ」は強調していて良いと思いました。</p>

島野委員	案1の“わ”についてのこだわりがあったようで、環境の「環」を使うのは新鮮でよいと思いました。
杉田委員	案2がいいと思いました。健康であるためには食が一番大事だと思います。昨今は、子ども達の外食産業等の利用が多くなっているので、食の見直しをして進めていくべきだと思っていて、そういう意味からも案2がよいと思いました。
塙越委員	案1の文面がよいと思ったのですが、「健康づくりと食育の実践の環」をもう少し、うまく短くできればいいかなと思いました。
高瀬委員	案2の「次世代につなげていく」というのが良いと思いました。 案4の「明日の自分をデザインする」というのは、ちょっと難しい感じがしました。
根本委員	私も、案2が分かりやすくて良いと思いました。
上岡委員	私たちが目指しているのは、案4にあたるのではないかと思います。他人任せではなく自分自身で変えていくということが重要になってくると思いますので、案4を煮詰めていけばよいのではないかと思います。
折原委員	案3が完結で良いと感じました。
山田委員	案2がスッキリしていて良いと思いました。
平塙委員	私も案2がスッキリしていて良いと思いました。案1の「実践の環」の「環」をどこかに使えないかという気もするんですけど、案2が良いかと思いました。
濱田委員	私も案2がとてもわかりやすくて、はつきりしていて良いと思いました。案1の「健康づくりと食育の実践の環」もいいと思ったので、折衷案があればとも思いました。
野田委員	案2・案3のいいところをとって、「みんなの食育・健康づくりで笑顔あふれる元気な久喜市」というような感じでつくるといいかと思いました。 「環」も皆さんの気持ちが広がって、つながって、と良いイメージだと思います。

鈴木委員	この基本理念は、健康づくりと食育の両方を含めた理念なので、偏りがないようにつくるのがいいと思います。案2の「みんなでやる」をもう少し強調するようにできると良いと思います。「みんなの食育・健康づくり」がどこかに入れば良いと思います。
新井委員	案2が簡単でわかりやすくてよいと思います。
宮内副会長	それぞれの案の中に使いたいポイントがあり、使いたいフレーズが入って、組み合わせると更に重みのあるものが出来上がるのかと思います。考え方として、案1の「広げよう」は今まで広めてきてるので、さらに広げていく意味で、次世代へ広げる、次世代へつなげるということで、案2を重点に考えていくといいのかと思いました。案3もいいのですが、これだけではちょっと足りなくて、わかりにくいかと思いました。
議長 (野原会長)	ありがとうございました。 なかなか難しいですね。良い言葉は網羅されていると思います。後は、つなげ方とかそういったことになってくるかと思います。それぞれの意見が集約されていると思います。各委員さんからの意見を尊重していただいて、決めていければと思います。
事務局 (真坂課長)	明日の健康づくり推進会議でも、基本理念について意見を伺う予定です。健康づくり推進会議・食育推進会議の両方の意見を基にして、事務局が再度、案を作り、次の会議で話し合って行きたいと思います。次回は、案を2つ程度に絞って、検討していきたいと思います。
宮内副会長	前回の理念と今回の理念の関係は、どう考えているのでしょうか。
事務局 (真坂課長)	今回、食育推進計画・健康増進計画を1冊にするということで、基本理念も1つにしていくということがありましたので、できれば1次計画の基本理念で使用していた言葉を使えたらいいなという思いもありまして、「広げよう」という言葉が残っていたり、「人づくり・まちづくり」の「つくる」という言葉を意識してみたり、「健康づくり」「食育」という言葉を必ず両方入れるというように配慮して、4つの案を考えたところです。今日、皆さんから頂いた意見を参考にさせていただき、また考えていきたいと思います。
議長 (野原会長)	ではまた、ただいまの意見を参考に案を考えていただければと思います。 他にありますか。

<p>事務局 (齋藤栄養士)</p>	<p>ないようですので、次の議題に移ります。</p> <p>(2) 計画の体系について</p> <p>事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>資料2に基づき説明</p> <p>はじめに一つ修正をお願いしたい箇所がございます。図の左側にある縦書きの黒い四角、上の段の「基本方針」を「基本目標」に修正をお願いいたします。</p> <p>構成としては、上から共通の「基本理念」、その下に共通の「基本方針」が入りまして、その下に、「第2次健康増進計画」と「第2次食育推進計画」が横に並びます。そして、それぞれの計画に、「基本目標」「施策の項目」がぶらさがる形になっています。それぞれの計画には「基本目標」があり、健康増進計画は3つ、食育推進計画は5つの柱になっています。この基本目標の下には、「施策の項目」という形で、基本目標を達成するために必要と思われる内容をそれぞれあげております。</p> <p>この体系(案)では、主に共通する部分(健康増進計画の栄養・食生活の部分と食育推進計画の健康寿命の延伸につながる食育の推進)を、隣り合わせに配置し、点線で囲み、施策の項目は同じということで表現しております。</p> <p>次に食育推進計画の基本目標についてです。1次計画では、3つの基本目標をかかげて進めて参りました。この3つの目標には、食育基本法に記載されている内容が網羅されているので、基本的な取り組みに大きく変わりはありません。一方で、今年の3月に決定された国第3次計画には、これまでの取り組みや、食をめぐる状況の変化を踏まえ、これまでの基本的な取り組み方針に加え、5つの重点課題が示されました。この5つの重点課題は久喜市の状況にも同じく当てはまり、国の動向にあわせて、久喜市においても力を入れて取り組む必要があることから、久喜市の第2次食育推進計画の(案)として、基本目標に国がかかる5つの重点課題をとりいれました。</p> <p>5つの順番については、「健康寿命の延伸」が国では3番目の課題にきていますが、久喜市では、健康増進計画との共通事項であり、基本方針にもかかげていることから、計画の先頭に位置づけました。他の項目については、国の順番のとおりにあげています。</p> <p>まず、1つ目の基本目標「健康長寿の延伸につながる食育の推進」についてです。こちらは、市の一次計画の「健康ながらだをつくる食育」におおむね該当すると考えています。久喜市は高血圧による医療費の割合が高いことが分かり、減塩の取り組みが大きな課題のひとつにあげられる見込みです。</p> <p>続いて、2つ目の基本目標「若い世代を中心とした食育の推進」についてです。久喜市においても、国の傾向と同じように、20代、30代は食に関する知識が少なく、意識や関心も低い状況で、行動に移している人も少ない傾向が出ています。また、この若い世代はこれから親になる世代でもあり、次の世代</p>
------------------------	---

へ健全な食生活を引き継ぐためには、若い世代が自ら主体的に取組めるよう、支援が必要と言われています。

つづきまして、3つ目の基本目標「多様な暮らしに対応した食育の推進」についてです。こちらは、食事を単に食べるということではなく、誰かと一緒に食べる、楽しく食べる、といった「共食」が該当すると考えております。久喜市の1次計画では基本目標3「豊かな心を育む食育」の一部に該当すると考えられます。多様な暮らしには、一人暮らしや、ひとり親世帯、共働き世帯、貧困の状態にある子どもなど、家族と一緒に食事をすることは良いことだと分かっていても、そのように個人が望んでも難しい状況の方もいることから、地域で共食の機会を提供したり、子どもが食事をともにできる居場所作りなどの取組が必要であると言われています。

つづきまして、4つ目の基本目標「食の循環や環境を意識した食育の推進」についてです。久喜市の1次計画では基本目標2「くきを知る食育」の一部に「環境への配慮や、地産地消」があり、また、基本目標3「豊かな心を育む食育」の一部に「感謝の気持ちを持つことや、農業や調理など食の体験」がありますので、それぞれが該当すると考えられます。私たちの食行動は消費に偏りがちなので、食が生産される過程を知ることは、命の大切さや、生産者の思いを理解することにつながり、感謝の気持ちを育むことにつながります。また、食は自然の恵みでもたらされていることを理解し、環境への負荷を減らす取組が必要です。近年は、食品ロスの削減に向けて国民的運動を展開する動きもあり、食育においても取組むべき課題のひとつとなっております。

最後に、5つ目の基本目標「食文化の継承に向けた食育の推進」についてです。こちらの背景には、和食が平成25年にユネスコの無形文化遺産に登録されたことがあります、日本の食文化が十分に受け継がれていない現状をふまえ、改めてその良さを知り、料理や調理技術、お箸の持ち方といった作法、行事食を通じた家族と地域の結びつきなど、私たちの生活とともにある日本の食文化のことを考えることが必要と言われています。久喜市の1次計画では基本目標2「くきを知る食育」の一部に「地域の伝承料理を知り、広める」があり、基本目標3「豊かな心を育む食育」の一部に「食文化の継承、家庭の食事を通じたマナーの学習」などがあり、これに該当すると考えられます。

今、ご説明させていただいたのは、食育推進計画の部分ですが、左側は健康増進計画になっています。こちらも、県の「健康長寿計画(第2次)」や国の「健康日本21(第2次)」に沿って、体系の見直しをしているところです。

議長
(野原会長)

ありがとうございました。

新しい視点と言いますか、「健康長寿」ということが出てきたというところですね。それから若い世代を中心とした食育の推進ですとか、最近は高齢者の栄養不足とか視点が変わってきたんですね。その辺がよく盛り込まれてい

	<p>ると思います。</p> <p>計画の体系について、ご質問、ご意見などをお願いします。</p>
新井委員	<p>高齢者に弁当を届けるボランティアをしていますが、バランスよく食べるというのが難しく、一人暮らしだと一回の食事を作りすぎてしまい、次の日もその次の日も同じものを食べるなど偏ってしまう事が多いです。また、若い世代も、一人暮らしだと、食事のバランスが偏りがちで、その辺が「多様な暮らし」や「若い世代を中心とした」食育の部分になってくるかと思いました。</p>
鈴木委員	<p>よく考えてあり、よくできているのではないかと思います。食育推進計画の流れが入ってきていますし、新しいテーマも入っています。それをもう少し具体的にするともっとよいものができるのではないかと思いました。高齢者の低栄養の問題はよく言われていますので、多くの人に理解してもらうために、食育関係の団体がいろいろあると思いますので、そういった方を通して話していただけだと、認知され、理解されるのではないかと思います。</p>
野田委員	<p>若い子育て中の母親と、一人暮らしの増加ですよね。一人暮らしの人は、買い物に行くのも面倒くさい、外出して何かするのも面倒くさいと、そういう状況になってくるのだと思います。保健センターでもいきいきクッキングなどやってますし、まずは、外に出て、そこに行って作って、皆さんと顔を合わせて食べましょうという一步からやっていけたらいいかなと思います。それから若い母親には、食事の偏りとかあるようですので、バランスのよい食事を心がけてもらい、とくに野菜ですね。地産地消で、いい野菜がたくさんありますので、そういうものを活用して頂きたいと思います。</p>
濱田委員	<p>高齢者の低栄養の問題はよく言われています。それから生活習慣病は重症化予防にウエイトがかかっているので、そういうことを中心にやっていくのがいいかと思います。また、色々な人のライフスタイルにあわせてやっていくということが必要かと思います。</p>
平塚委員	<p>高齢者の場合は外に出る機会が少なくて、いろんなことを学ぶ機会も少ないのだと思います。高齢者に限らず若い人も、そうなのかもしれません、色々な問題があって、それはいろいろなところでやっていくしかないのかなと思います。</p>
山田委員	<p>「若い世代を中心とした食育の推進」というのは、すばらしいことだと思います。かつ具体的にニーズに合った方法を発信していく、無理なく参加で</p>

	きる環境を整えるというのは非常に大事なことだと思いました。それから、一緒に進めていくことで健康寿命の延伸につながるということで、食育と健康づくりの共通部分を作ったというのは、とてもすばらしいことだと思いました。前回の中では、「健康なからだをつくる食育」ということで、バランスの良い食生活というのが強調されていたと思いますが、これがどこに含まれているのかなというのがありますと、可能であれば、バランスの良い食生活というのを入れていただければと思います。それから、孤食の問題がありますが、孤食は高齢者だけでなく、子供たちの中にもあって、孤食の問題も入るといいかと思います。
折原委員	「若い世代を中心とした食育」という中で、授業ではなかなか難しいところもあると思いますが、学校生活の中で、根付いてくれたらいいなと思います。
上岡委員	最近では、厚生労働省の方で「フレイル」という言葉が出てきまして、「虚弱」という意味なんですが、こういったことを予防していくことが重要になってくると思います。虚弱、孤食、肥満、やせ等を予防することが今後大事になってくると思います。
根本委員	若い世代を中心とした食育の推進というところで、学校では先生方が食育に取り組んでいて、食育推進計画が浸透していますし、給食もみなさんおいしく食べているということで安心しています。高齢者はというと、5年前と今では違います。75歳までは食事を作っていたのに、80歳になると自分で作れなくなって、常に買ってくる、それも好きなものばかり買う、簡単にすませるなどだんだんと食べなくなっていて、偏りも出ている、そんな高齢者の方をたくさん見てきているので、どのように食育を伝えていくか考えていかなければいけないと思います。それから「多様な暮らしに対応した食育の推進」というところで、「地域における共食の機会の提供」というのがありますが、これは具体的にはどういうイメージでしょうか。
事務局 (真坂課長)	事務局のイメージですと、食生活改善推進員や母子愛育班などが、地域と一緒に調理実習をして一緒に食べる機会を提供しています。子どもたちが対象であったり、親子を対象にしたり、高齢者を対象にしたり、地域の方を対象に、一緒に作って食べるという機会を提供するということをすでにやっているというところがあります。くらしの会もやってますね。地域ぐるみの活動というところで、といった機会が増えることを期待しています。
根本委員	そういう機会があるという情報は何かでわかるのですか。

事務局 (真坂課長)	保健センターが事務局である場合は、広報に載せたりします。地域の回覧板などを利用して周知するところもあるようです。福祉の方では、ふれあいサロンのような場で食を提供したりすることもあります。広報の仕方はグループにより違いはあるかと思います。
高瀬委員	計画の体系図ですが全体的に分かりやすいと思います。食育と健康の計画で共通する部分がわかりやすくてよいと思いました。
塙越委員	若い世代が無理なく気軽に参加できる取組や食環境の整備、地域における共食の機会の提供などすばらしい施策が入っていると思います。みんなが食に関心を持って1つ1つ実行できればと思います。
杉田委員	「食の循環や環境を意識した食育の推進」の中に「地産地消」があるわけですけれども、とくに子ども達に、学校給食を通じた地産地消の推進ということで入れたらどうかと思います。それから「食文化の継承に向けた食育の推進」とありますが、久喜、鷺宮、栗橋、菖蒲にそれぞれ郷土料理があると思います。そういうものを継承していくべきだらいいのではないかと思います。
島野委員	「若い世代を中心とした食育の推進」というところで、若い人たちが無理なく気軽に参加できる取組というのをやっていただけるといいと思いました。それから、地域における共食の機会の提供というところで、高齢者が参加する機会を地域で支えあっていけたらいいと思っています。
羽柴委員	食育推進計画と健康増進計画は両方が一冊になっていくのでしょうか。それと、推進会議は、最終的な2月6日だけが一緒になるのでしょうか。そこを確認したいのですが。
事務局 (真坂課長)	食育推進計画と健康増進計画、両計画を一冊にしていくという事で進めています。基本理念と基本方針は同一のものになっていきますが、基本目標と施策の項目はそれぞれの内容にあわせてつくってまいります。食育推進計画の「健康寿命の延伸につながる食育の推進」と健康増進計画の「健康を支える生活習慣の改善」の中の「栄養・食生活」の部分が共通と考えています。食育推進計画というのは「食」に特化した計画ですので、この部分については、健康づくり推進会議でも検討していただきますが、食育推進会議を中心になって検討していただくことになるかと思います。食育推進会議では、食育推進計画の5つの柱について重点的に検討していただこうと考えております。

宮内副会長	時代の流れに対応して、またアンケートの結果からの課題も踏まえてよくできているのではないかと思いました。皆さんからの意見にも出していましたが、一人暮らしの高齢者が多くて、簡単便利なものを利用する事が増えてきているので、地域で共食の機会を提供するというのは大事なことになってくると思います。また、テレビのニュースを聞いていたら、子どもたちの食を学校給食が支えているということで、夏休みが心配だということをやっていました、とても驚きました。「食事を食べている」といっても、夏休みになると、両親が働いている場合、お金を置いていって、子どもが買ってきて食べるということもあるようで、そういうこともあるということを念頭に置いて考えていく必要があると思いました。基本方針などはよくまとまっていると思います。
議長 (野原会長)	ありがとうございました。まだ少し時間があるので、先ほど山田委員の方から、「バランスの良い食事」というのがどこに入ってくるのかという意見があつたようですが、その辺はいかかですか。
事務局 (齋藤栄養士)	バランスの良い食事がどこに入ってくるのかということですが、「健康寿命の延伸につながる食育の推進」にぶらさがっている施策の項目の中の、①生活習慣病の発症予防と重症化予防というところです。こちらの項目を具体的に展開していくと、「バランスの良い食事」や「適量な食事」「塩分を控える」「野菜をしっかり摂る」ということが出てくるので、こちらに当てはまる内容だとイメージしております。
山田委員	今まで、「健康なからだをつくる食育」の中心が「バランスの良い食事」ということでありましたので、生活習慣病の発症予防と重症化予防というところに含まれるかもしれないのですが、可能であれば「バランスの良い食事」というのを項目として出していった方がいいかと思います。
議長 (野原会長)	確かにバランスの良い食事というのは根幹ですので、その辺を考慮して事務局は整理してみてください。 他にありますか。
羽柴委員	生活習慣病予防の中に食生活が入って、「バランスの良い食事」が抜けてしまっているようなので、もうすこし重要視した方がいいと思います。
議長 (野原会長)	そうですね。事務局は施策の項目をもう少し見直していただけますか。 他にありますか。

鈴木委員	<p>食育推進計画と健康増進計画の点線で囲ってある部分ですが、これは「健康寿命の延伸につながる食育の推進」ということで、1つ1つ見ていくと、かなりのボリュームが出てくると思います。それをきちんとやっていけば、両計画にまたがるいいものができるのではないかと思います。</p> <p>それから、ロコモティブシンドロームは10年位前から継承されているのですが、認知度が上がってないんですね。健康日本21（第2次）では、ロコモティブシンドロームの認知度を上げるということで載っていましたけれども、計画においては、すぐにというものはなくて、じっくりじっくりやっていくしかないのかなと思います。</p>
議長 (野原会長)	<p>ロコモティブシンドロームというのが出てきて、最近は「フレイル」というのが出てきて、「食べる過ぎるな」ということから、低栄養が問題になったり、いろいろ変わってきていますね。そういうことが盛り込まれているのでいいのではないかと思います。健康寿命の延伸というのは大きな課題ですから、これを食育だけで賄うというのはできないので、健康づくりの方と合わせて一緒に考えていけたらと思います。</p> <p>他にいかがですか。</p>
折原委員	<p>子ども達の心配があるというお話がありましたけれども、親が責任を果たさなければならぬところが大いにあるというところの1つとして、もう一步踏み込んで、学ばなければいけないという危機感が浸透していく様になればいいと思います。</p>
議長 (野原会長)	<p>他にはいかがですか</p>
宮内委員	<p>若い世代というのが、今の子育て中の親に関わってくるのかなと思います。明日の子ども達につなげる「食」、最終的には食と健康を通しての「健康寿命の延伸」につなげるということで、みんなで知恵を出し合っていかなければいけないと思います。折原委員さんはPTAの会長さんですので、子ども達のことでいろいろ感じる部分があって、これからそこに気を付けていただけるのだと期待しています。</p>
議長 (野原会長)	<p>ありがとうございました。 他にありますか。 それでは、全ての議題について終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。</p>

	委員の皆様にはご協力をいただき、ありがとうございました。
司 会 (真坂課長)	ありがとうございました。 4 「その他」 事務局から、ご連絡等を申し上げます。
事務局 (小沢課長補佐)	本日、当日配布資料として「計画の策定スケジュール」についてお配りしています。次回の第6回食育推進会議は10月17日(月)です。その次の第7回の会議については12月9日(金)ということで予定しています。第8回の会議については健康づくり推進会議と合同会議ということで、2月6日(月)に予定しています。パブリックコメントが終わった後で最終の会議になるかと思います。よろしくお願いいいたします。
司 会 (真坂課長)	ご質問等はございますか。 ご質問等がないようでしたら、次第の5「閉会」にうつりたいと思います。 宮内副会長ごあいさつをお願いいたします。
宮内副会長	『宮内副会長 あいさつ』
司会 (真坂課長)	ありがとうございました、それでは以上をもちまして、第5回久喜市食育推進会議を終了とさせていただきます。 皆様、大変お疲れ様でした。 本日はありがとうございました。 今後とも、よろしくお願いいいたします

会議のてん末・概要に
相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成28年 9月7日

久喜市食育推進会議

会長

野原宏